

# 川崎都市計画道路の変更（川崎市決定）

都市計画道路中 3・5・14 号野川柿生線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・14	野川柿生線	川崎市宮前区野川字東耕地	川崎市麻生区上麻生6丁目	川崎市高津区久本1丁目、宮前区平3丁目、多摩区長沢3丁目、麻生区王禅寺	約16,060m	地表式	2車線	12m	JR 武蔵野南線と立体交差 東急田園都市線と立体交差 小田急小田原線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路国道246号線と立体交差 幹線街路と平面交差8箇所	面積約5,400㎡

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

## 理由

### 川崎都市計画道路の変更（3・5・14号野川柿生線の変更）

本市の都市計画道路網は、高度経済成長下での人口の増加、交通量の増大、市街地の拡大など、都市の成長を前提に現在の都市計画道路網の骨格が形成されました。

本市では、本格的な少子高齢社会の到来や日常生活の安心や快適さなどの身近な暮らしやすさを求める市民の価値観の変化など、新たなまちづくりの課題への対応が求められています。

同様に都市計画道路網を取り巻く環境についても、その状況が変化する中で、都市計画決定後、長期にわたって事業が実施されていない路線や区間が存在することから、「都市計画道路網のあり方」について専門的見地から必要性を検証し、適切な都市計画道路網への見直しを図るため、平成20年6月に「都市計画道路網の見直し方針」を策定いたしました。

本案は、時間の経過とともに都市計画道路に求められる機能や役割が変化してきたことに伴い、一部区間を変更し、延長を変更するほか、車線の数を定める等の変更を行うものです。

新旧対照表

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主経過地	延長	構形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
新 幹線 街路	3・5・14	野川柿生線	川崎市宮前区野川字東耕地	川崎市麻生区上麻生6丁目	川崎市高津区久本1丁目、宮前区平3丁目、多摩区長沢3丁目、麻生区王禅寺	約16,060m	地表式	2車線	12m	JR 武蔵野南線と立体交差 東急田園都市線と立体交差 小田急小田原線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路国道246号線と立体交差 幹線街路と平面交差8箇所	
面積 約5,400㎡											
旧 幹線 街路	3・5・14	野川柿生線	川崎市高津区野川字東耕地	川崎市多摩区上麻生字白根	川崎市高津区久本、多摩区菅生、下麻生	約15,850m	地表式		12m	国鉄武蔵野南線と立体交差 私鉄東急田園都市線と立体交差 私鉄小田急小田原線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路国道246号線と立体交差 幹線街路と平面交差10箇所	